

# 文献複写申込依頼書の書き方

資料情報は、主に次の2つの方法で得られます。

- a. インターネット上から
- b. 文献にある引用・参考文献から

大学図書館で所蔵していない資料の場合、図書館を通して他大学から資料を送ってもらうことができます。ただし、情報は正確でないと伝わりません。

では、a, bの情報をどのように伝えたらよいのでしょうか。

正しく情報を伝えるには、情報源がどのような規則で書かれてあるかを知らなくてはなりません。その上で、必要な要素を誰にでも分かるよう正確に書き写します。

下図は本大学図書館の様式です。文献依頼に必須の要素は①～⑦です。この中に入れる情報を、インターネット（例はCiNii）と文献を例に番号で示しました。



- ① 誌名・書名
- ② 巻号
- ③ ページ
- ④ 発行年
- ⑤ 著者
- ⑥ 論題
- ⑦ 典拠 (情報源)

## 文献複写申込依頼書

受付No. \_\_\_\_\_

桐蔭横浜大学 大学情報センター長 殿

下記の通り申込みます。この申込みによる著作権に関する一切の責任は申込者が負います。

		受付日	年 月 日
申込者 氏名	学科・専攻	資格	学部生・大学院修士課程 大学院博士課程・研究生
学籍 番号	ゼミ	[指導教員] 印	
誌名 (書名)	<input type="checkbox"/> 逐次刊行物(雑誌) <input type="checkbox"/> 図書		※ゼミ費などを利用する場合は指導教員の印が必要です。(↑) 【お願い】 ① 判読容易な文字(ブロック体など)でご記入ください。 ② 誌名(書名)は省略せず、フルスペルをご記入ください。 ③ 当館に所蔵していない資料に限ります。 ④ 下記記載の注意(制限事項)をよくお読みください。
巻号	Vol. (巻)	no. (号)	
頁	(開始頁)	p. ~ (終了頁)	p.
発行年	年 ( 月 )		
著者			
論題	<<お申し込みの前に>> 所蔵の有無を必ずご確認ください。		
典拠	ISSN・ISBN: NCID:		
資料添付: 有・無			

### 図書館における文献複写の制限事項 (著作権法第31条)

- ① 複写範囲: 著作物の全体ではなく一部分(半分を超えない程度)であること。  
: 定期刊行物に掲載された各論文その他の記事は全部であるが、刊行後相当の期間(次号の刊行まで、あるいは刊行後3カ月)を経たものであること。
- ② 複写部数: 一人について一部のみであること。
- ③ 複写目的: 利用者の調査研究のためであること。
- ④ 禁止事項: 有償無償を問わず、再複写したり頒布したりしないこと。

「大学図書館における文献複写に関する実務要項」(国公私立大学図書館協力委員会)による

a. インターネット上にある資料情報からの例

⑦ CiNii  
日本の論文データベース 論文の検索の要となる

検索結果: 1件  
内蔵 検索履歴も併った下 閲覧者の1例

⑥ Indocyanine green 排泄異常を伴った肝細胞癌の1手術例  
A Surgical Case of Hepatocellular Carcinoma Associated with Constitutional Indocyanine Green Excretory Defect

⑤ 著者: 山本 裕典 (Yamamoto Yukihiro), 山口 貴弘 (Yamaguchi Akihiro), 樋口 正昭 (Higuchi Masataki), 横山 明彦 (Yokoyama Akihiko)

この論文にアクセスする  
CiNii 論文PDF オープンアクセス

この論文をさがす  
CiNii Books

抄録  
Indocyanine green (ICG) 試験において滞留率が70%と異常高値を示す肝細胞癌の症例を報告した。癌の発生生物学に異常はなく、いわゆる ICG 排泄異常と診断した。術前肝機能評価のために、腹腔鏡による鏡面および超音波の肝検査を行い、慢性活動性肝炎の所見を得た。次にカラード플ラー超音波検査を行い、肝内血管に異常がないことを確認した。最終的には術中、片側腹部下に肝臓中から腫瘍を摘出することにより、完全に肝を無血状態に維持した。ICG 排泄異常症における肝切除術式の決定は困難であるので、今後症例の集積とともに、新たな肝手術術式の確立が必要であろう。

※CiNii に論文本文がある場合は、

CiNii PDF - オープンアクセス  
CiNii PDF - 定額アクセス可能  
機関リポジリ

CiNii 論文PDF オープンアクセス  
CiNii 論文PDF 定額アクセス可能  
機関リポジリ

がある場合、これらのアイコンをクリックすると、学会刊行物、研究紀要機関、リポジリの論文本文が表示されます。

※上記で出ない場合は、**本学所蔵を探す(OPAC)**

もありますので、このリンクをクリックして学内の所蔵をチェックして下さい。

※引用元の文献には参考文献、引用文献のデータがすべて出ていますので、こちらからも検索できます。

※Google などのブラウザ検索バーで CiNii のトップページを介さず直接論文検索を行うこともできます。



⑦ 日本消化器外科学会誌 (巻31) 4

参考文献: 20件中 1-20件を表示

⑥ <no title> 2019年10月号  
消化器 癌 呼吸器 腎臓 泌尿器 小児科  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):421-427

⑤ Indocyanine Greenによる肝動脈検査とくにその有用性について  
石橋 久子 (Ishihara Koko), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):428-432

④ ICGとBSPの導入の有用性を評価する為、ICG試験器具BSP試験器の2症例を中心として  
高久 隆博 (Takakura Takahiro), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):433-437

③ 肝切除術中に見られたICG試験異常症例(肝切除後ICG排泄異常症)  
藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):438-442

② Doppler analysis of hepatic blood flow predicts liver dysfunction after major hepatectomy  
藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):443-447

① 肝手術前からみた肝切除術の問題点  
藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):448-452

⑦ 肝不全にて遷延入院となったAlagille症候群の1例  
藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):453-457

⑥ Indocyanine green 排泄異常を伴った肝細胞癌の1手術例  
山本 裕典 (Yamamoto Yukihiro), 山口 貴弘 (Yamaguchi Akihiro), 樋口 正昭 (Higuchi Masataki), 横山 明彦 (Yokoyama Akihiko)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):458-462

⑤ 肝不全にて遷延入院となったAlagille症候群の1例  
藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):463-467

④ 幼少期から口唇管理を行った Alagille 症候群の2例  
藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):468-472

⑥ アラジール症候群と診断され長期経過観察中の患者に発生した肝細胞癌の1例  
Development of Hepatocellular Carcinoma in an Adult Patient with Alagille Syndrome

⑦ 著者: 藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 三輪 史朗 (Miwa Shiro), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)

⑥ 参考文献: 19件中 1-19件を表示

⑤ Syndromic paucity of interlobular cases  
藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):473-477

④ <no title> 2019年10月号  
消化器 癌 呼吸器 腎臓 泌尿器 小児科  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):478-482

③ Multitons in the human liver  
藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):483-487

② 藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):488-492

① 藤田 雄一 (Fujita Yūichi), 藤田 雄一 (Fujita Yūichi)  
日本消化器外科学会誌 (OPAC) 31(10):493-497

引用元の文献

- ① ⑥の論題(タイトルの)資料の収録雑誌
- ② Vol.(巻)とカッコ内は no.(号)
- ③ ページ
- ④ 発行年月日
- ⑤ 著者(複数いる場合は、3人まで記入して下さい。)
- ⑥ 論題(タイトル)
- ⑦ 典拠・資料の情報源(この例の場合、“CiNii”と記入します。)

読みたい文献

症例報告

# アラジール症候群と診断され長期経過観察中の患者に発生した肝細胞癌の1例

信州大学医学部付属病院消化器外科, 同 消化器内科\*

増田 雄一 三輪 史郎 名取 恵子 宮川 雄輔  
横井 謙太 鈴木 史恭 横山 隆秀 小林 聡  
宮川 眞一 田中 榮司\*

アラジール症候群 (Alagille syndrome ; 以下, AGS) は常染色体優性遺伝の疾患で, 特異な顔貌, 心血管異常, 組織学的には肝内胆管の消失・低形成などが特徴とされる。患者は49歳の男性で, 10歳時に当院にて開腹肝生検を施行され, 肝内胆管消失を認め AGS と診断されて以降, 近医にて治療経過観察されていた。49歳時に腹部超音波検査にて肝右葉に巨大腫瘤を指摘され, 検査目的に当科へ紹介された。精査にて肝腫瘍は肝細胞癌と診断され, 肝切除術が施行された。術後経過は良好で術後第19病日に退院した。切除肝の肉眼検査所見上, 腫瘍の最大径は12.5cmで, 部分的に壊死を認めた。病理組織学的検査上, 腫瘍は中分化型肝細胞癌と診断され, 背景肝に胆管消失はなく, 慢性肝炎あるいは肝硬変の所見も認められなかった。AGSの長期観察症例, 肝硬変非合併症例の肝細胞癌発生・切除の報告はまれであり, 文献的考察を加えて報告する。

## はじめに

アラジール症候群 (Alagille syndrome ; 以下, AGS) は7万人に1人の割合で出生する常染色体優性遺伝の疾患であり, 肝内胆管の消失または低形成, 彫りの深い顔貌などの特徴を有する<sup>1)~4)</sup>。症状は無症候性から多くの症候を持つものまで幅があるとされている<sup>5)</sup>。成人期まで生存する症例の中には胆汁うっ滞により肝硬変に進行するものもあるが, 長期合併症としては脳・心の血管障害が多く, 肝細胞癌の発生は比較的まれである<sup>6)7)</sup>。今回, 我々は10歳時に肝生検を施行されアラジール症

植術を施行)。

現病歴: 生後3か月頃より黄疸を繰り返し, 10歳時に当院消化器内科に精査目的に入院となった。上腹部正中切開にて肝生検(採取部位不詳)を

## 文 献

- 1) Alagille D, Estrada A, Hadchouel M et al : Syndromic paucity of interlobular bile ducts (Alagille syndrome or arteriohepatic dysplasia) : review of 80 cases. J Pediatr 110 : 195-200, 1987
- 2) Roderick NMM, Alastair DB, Bernard CP et al : Pathology of the liver. Fourth edition. Churchill Livingstone, London, 2002, p121-123
- 3) Oda T, Elkahloun AG, Pike BL et al : Mutations in the human Jagged 1 gene are responsible for Alagille syndrome. Nat Genet 16 : 235-242, 1997

- 17) Alagille D, Estrada A, Hadchouel M et al : Syndromic paucity of interlobular bile ducts : review of 80 cases. J Pediatr 110 : 195-200, 1987
- 18) Fujisawa T, Kage M, Ushijima K et al : Alagille a spontaneous appearance of the ducts. Acta Pediatr Jpn 36 :

- 19) 金 祐輔, 山口晃弘, 磯谷正敏ほか : Indocyanine green 排泄異常症を伴った肝細胞癌の1手術例. 日消外会誌 28 : 62-66, 1995

① ② ③ ④

の1  
長  
肝移  
科

- ① ⑥の論題(タイトル)の資料の収録雑誌。  
ここに記載されている誌名は略称なので, 正式名称を記載して下さい。
- ② Vol.(巻)のみ記載されています。
- ③ ページ
- ④ 発行年のみ記載されています。
- ⑤ 著者(複数いる場合は, 3人まで記入して下さい。)
- ⑥ 論題(タイトル)
- ⑦ 典拠・資料の情報源(この例の場合, ⑦とその下の論題タイトルの参考文献であることを示します。また, 雑誌名は略称なので正式名称を記載して下さい。)



## 文献複写申込依頼書

受付No. \_\_\_\_\_

桐蔭横浜大学 大学情報センター長 殿

下記の通り申込みます。この申込みによる著作権に関する一切の責任は申込者が負います。

				受付日	年 月 日
申込者 氏名	桐 蔭 太 郎	学科・専攻	○○○○○学科	資格	学部生・大学院修士課程 大学院博士課程・研究生
学籍 番号	F00X105	ゼミ	○○○○ゼミ	[指導教員]	印
誌名 (書名)	日本消化器外科学会雑誌			※ゼミ費などを利用する場合は 指導教員の印が必要です。(↑)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 逐次刊行物(雑誌) <input type="checkbox"/> 図書			【お願い】	
巻号	Vol.(巻) 28	no.(号)	2	① 判読容易な文字(ブロック体など)でご記入ください。	
頁	(開始頁) 62	p. ~ (終了頁)	66	② 誌名(書名)は省略せず、フルスペルをご記入ください。	
発行年	1995 年 ( 1 月)			③ 当館に所蔵していない資料に限ります。	
著者	金 祐 鎬、山口 晃 弘 他			④ 下記記載の注意(制限事項)をよくお読みください。	
論題	Indocyanine green 排泄異常症を伴った肝細胞癌の 1 手術例			≪お申し込みの前に≫ <u>所蔵の有無を必ずご確認ください。</u> <u>さい。</u>	
典拠	論文の参考文献			ISSN・ISBN:	
	資料添付: <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			NCID:	

## 図書館における文献複写の制限事項(著作権法第31条)

- ① 複写範囲: 著作物の全体ではなく一部分(半分を超えない程度)であること。  
: 定期刊行物に掲載された各論文その他の記事は全部であるが、刊行後相当の期間(次号の刊行まで、あるいは刊行後3カ月)を経たものであること。
- ② 複写部数: 一人について一部のみであること。
- ③ 複写目的: 利用者の調査研究のためであること。
- ④ 禁止事項: 有償無償を問わず、再複写したり頒布したりしないこと。

「大学図書館における文献複写に関する実務要項」(国公立大学図書館協力委員会)による